



三和カードック マネージャー

新温泉町 岡本 雄一郎さん (35)

「後継者」から「経営者」へ、新たな一歩を踏み出す力。

「企業の成長がまちの雇用や納税を増やし、結果的に地元の活性化に繋がるんです」という信念を持つのは、新温泉町浜坂で父親の経営する自動車ショップに勤務する岡本雄一郎さん。地元商工会青年部に属し、地域商業の発展に務める岡本さんは、平成23年度の商工会青年部が主催する主張発表会にて、但馬で初の全国

大会出場を果たした。主張大会は青年部のメンバーが商売・まちづくりに対する想いをスピーチし、その内容や表現力を競うというもの。岡本さんが主張した内容は、地元商業における大変前向きな想いだっただけでなく、周囲からの推薦もあり、同大会に初めて参加した平成20年。惜しくも近畿大会で敗退した。

しかし、この出場をきっかけに自らが青年部に属する意義や役割りを深く考えることとなる。

当時、商工会の主立った取り組みといえば地元のイベントを率先して盛り上げることくらいだった。

「イベントが終わればまたいつもの閑散としたまちに舞い戻ってしまう。まちが元気であり続けるためには私たち商売人が頑張らないと」と現状を懸念した岡本さん。商工会青年部を「経営者育成の場」にするという取り組みを試みることにした。

年間を通じて講師を招いたセミナーを充実させ、商売のノウハウとともに、モチベーションを保つための経営塾。岡本さんらは、そこで培ったものを国の支援制度である「経営革新支援」制度の承認申請へと向かわせた。



16 おかもと・ゆういちろうさん
新温泉町浜坂出身。
自営業の「三和カードック」で営業の仕事を中心に勤務。まちの先代が築き上げた商業を守るには、2代目、3代目がただの「後継者」ではいけないと、商工会青年部で「後継者」から「経営者」に成長するための経営セミナーを提案するなど、若手の先頭に立って奮闘する。

それから、経営者としての一歩を踏み出した岡本さん。アイデア不足と既存の仕事に追われて何度なくじけそうになるも、顧客目線に重点を置いた画期的な計画案により、晴れて支援制度の承認を得ることができた。岡本さんは、この経験を経て大きく成長し、その想いを胸に挑んだ平成23年度的主張大会で、見事全国3位という結果を残す。

「まちのイベントも大事ですが、それ以上に若者が成長し、明るい将来のためのまちづくりを行いたい」と話す岡本さんの表情からは、地元に残る強い気持ちが見え取れた。

ARをご存知ですか？

印刷物から
動画が見れる

ほくにスマホをかざしてね！



ダウンロードしてください



junaio アプリ

〈AR 操作方法〉

- 1 スマートフォンやiPadで左のQRコードからjunaioアプリをダウンロードしてください。(無料)
- 2 ダウンロード後junaioを立ち上げ、画面右上のscanをタッチし、もう1度左のQRコードを読み込んでください。(ピロリロと音がすればスキャン完了)
- 3 そのまま左のイメージキャラクター「Reco」くんにスマホをかざしてください。動画が写し出されます。(少し時間がかかるかも…チョットがまんして待ってね)
- 4 表れたものにタッチすると、コメントが出てきて岩見印刷のホームページもご覧いただけます。

●お問い合わせは

岩見印刷株式会社

〒669-5321 兵庫県豊岡市日高町土居67-1

0796-42-1200

●名刺・パンフレット・ポスター等、印刷物にARを取り込んで、あなたのお店・会社をPRしませんか？

伝承の地を訪ねて

おりゅう柳

〔養父市八鹿町高柳〕



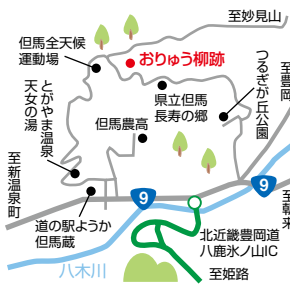
*三十三間堂はその後火事で焼けてしまったため、今の建物はそれから後に建てられたもの。



おりゅう柳

植えられた柳の木の後ろには直径約30m、深さ約2mほどの窪地がある。おりゅう柳は高さ120m以上もあったと伝えられている。

◆養父市八鹿町国木



参考文献：加芝輝子著「但馬の民話〈2〉伝説」

切れない動かない、不思議な伝説が残る 地名「高柳」の由来となった大柳

養父市八鹿町国木の市立但馬全天候運動場の東側に、1本の柳の木が植えられている。その後ろにある大きな窪地。ここには窪地いっばいに根をはった柳の大木があったと伝えられており、「おりゅう柳」伝説の場所となっている。その大柳は「高柳」の地名の元になったとされているそう。

昔、高柳におりゅうという美しい女性が住んでおり、夫・子どもと共に幸せに暮らしていた。八鹿の梅山のふもとには大柳があり、おりゅうが長い髪をすくと、その柳の枝が風のない日でも音をたてて揺れていたそう。

さて、この頃京の都では御門の病氣回復祈願のため、三十三間堂という大きな寺が建てられることになった。そして材木に大柳が選ばれた。

村人は守り神の大柳を切りたくなかったが、仕方なく切り倒し始める。しかし次の日、驚いたことに切り口が見

当たらない。再度切り始めるが、やはり次の日には切り口がなくなっていた。

そこで村人たちは寝ずの番をすることにしたが、途中で眠ってしまう。すると夢に老人が現れてこういった。

「私は柳に巻き付いているから。柳を切りたいのなら、木くずを燃やさない。夜になると木の精たちが集まり、傷口をふさいでいるのだ。私も助けようとしたが邪魔者扱いされたので、悔しくて秘密を教えることにした。」

それから木くずを焼くと切り口はふさがらなくなってしまうそう。

やっと切り倒した柳を京へ運ぼうとするが、今度はびくとも動かない。

みんなが困り果てていた時、突然男の子が大柳の上によじ登った。すると柳はするすると動き始める。「あれはおりゅうの子のみどり丸ではないか」と声ががあがった。おりゅうは柳が切り倒されたその時刻に息を引き取っていた。結局、京へ7日かけて運ばれたが、みどり丸が上に乗らないと柳は動かなかったそう。

おりゅうはやっぱり柳の精だったのだろうか。

似た話に、文楽の人形芝居として有名な「三十三間堂棟木由来」がある。これは男女の恋物語として、全国的に広く知られている。

新春

振袖

その瞬間の今を残そう...
「二十歳の振袖」

振袖選び・準備の決め手は？
それは、お嬢様だから似合う
スタイリングと出会えること。
着て良かった笑顔がこぼれる。

ご成約特典あり

前撮り「振袖 美撮り+plus」など
*成人式&前撮り(着付・ヘアメイク付)
*お手入おまかせサービス

振袖スタイリストの「母の振袖」
アレンジコーデ
お嬢様スタイルに劇的チェンジご相談ください。
まずは、下見・ご試着・ご相談にお気軽にお越し下さい。

振袖展開催スケジュールは
FACEBOOK、Twitterにてご案内中!!

KIMONO SALON KEITANI

〒668-0084 兵庫県豊岡市福田1887-1
フリーダイヤル 0120-529-008
kimonosalon-keitani@live.jp

豊岡駅前 吉野家 豊岡バイパス
ローソン 豊岡店 豊岡駅前 吉野家 豊岡バイパス
豊岡駅前 吉野家 豊岡バイパス